



# 東京金山会通信 No.13

東京金山会通信も早いもので1年(No.13)となりました。

これからも金山町と東京金山会との橋渡しになれる様に頑張りますのでよろしくお祈りします。

問い合わせ  
東京金山会 広報担当 (藤山善夫)  
☎080-5525-0435  
✉fujiyama.d.siren@ae.auone-net.jp



## 第62回東京金山会総会中止のお知らせ

現在、世界的規模で発生している新型コロナウイルスの感染者が首都圏で相次ぎ、今後、しばらくの間も感染拡大の傾向が続くものと思われます。そのため、総会に出席される皆様の健康と安全を考えて第62回東京金山会は中止することにいたしました。残念ではありますが何卒ご理解の程よろしくお祈りします。なお、次回の総会は改めてご案内いたします。

④永山茂樹さんが新曲を発表されました。「新庄あじさい演歌」「おしんのふるさと」です。インターネットでも聞く事が出来ますので応援よろしくお祈りします。⑤東京都中央区銀座1丁目にある おいしい山形プラザは4/11~ 当面の間休業しています。

## 【都会でがんばる金山町出身者】

都会での生活を夢見て故郷をあとに、都会での荒波にもまれながら故郷を思い、がんばっている皆さんを紹介していきます。一人目は十日町出身の丹七美さんです。現在は東京港区で素晴らしい活躍をされております。これから大好きな山形の力になりたいと話していました。

私は、新庄北高校、宇都宮大学を卒業後、外国人ALT派遣会社のコーディネーターとして、延べ170校以上の幼保・小・中学校の英語教育に携わりました。現在はコーチング英会話スクールでマネージャー×コンサルタントとして、起業家・経営者など、様々な方の英語学習をサポートする傍ら「人生構築・目標達成メンター」として事業を行っています。「理想の人生を叶えたい」という方に必要な在りかた・心の常態を指導し支援しています。金山町の美しい自然で育った田舎娘、東京で活躍を目指し毎日楽しく奮闘中です。



丹七美さん

## No.171 「森の子ども図書コーナー」 交流サロンぽすと内



「オレ、おおきくなるのいや」  
(デヴ・ペティ/文マイク・ボルト/絵マイクロマガジン社)

もしオレがおおきくなっちゃったらこの本に入りきると思う？無理でしょ？(カエル) —オレ、おおきくなるのやめることにしたと言ったらおとうさんがガエルはびっくりした。アリはちいさいままでアリにはなりたくない。足が長いお父さんがオレを抱っこしてあっちにもこっちにも行ってくればいい。アカメマガエルたちと遊べなくてもいい。手が届かないところあるおいしいものは、大きな友達のゾウくんにとってもらえばいい。友達のブタクンにもおおきくなるのやめたと言ったら、ブタクンは何と言ったのでしょうか？



※( )内作者名

むかしむかしあるところに死体がありました。(青柳碧人) / 熱源 (川越宗一) / 夏物語 (川上未映子) / 店長がバカすぎて (早見和真) / Medium 霊媒探偵城塚翡翠 (相沢沙呼) / トライメライ (村山早紀)

## 「図書室だより」

中央公民館内 9:00 ▶ 16:00

「むかしむかしあるところに、死体がありました」  
(青柳碧人/双葉社)  
昔ばなしがまさかのミステリーに！お姫様を鬼から守った一寸法師。打ち出の小槌で大きく変わった彼は、ある計画を心に秘めておりました…一寸法師の不在証明。亀を助けた浦島太郎は連れていかれた竜宮城で飲めや歌えやの大宴会。そんな中、伊勢海老のおいせが殺されました…(密室竜宮城)。



「真室川の番楽」  
(真室川町伝承文化を伝える会/著作・発行)  
秋田県と山形県北部に伝わる「番楽」。真室川町では平枝地区、釜淵地区、八敷代地区に受け継がれています。新庄市の写真家松田高明氏が撮りためてきた約10,000枚の中から厳選した写真を掲載。番楽を舞い躍動する舞手の息遣いや力強さ、そして番楽を受け継ぐ人たちの歴史などが詰まった写真集です。



今月は10冊!

／夢見る帝国図書館(中島京子) / 線は、僕を描く(砥上裕将) / 人は話し方が9割(永松茂久) / マンガで覚えるカタカナ語(齋藤孝)

## 新規採用職員の紹介

菊地 祐希 (新庄市)  
総合政策課  
総合政策係



早く仕事に慣れ、町民の皆様の力になれるよう精一杯頑張ります。

高橋 佳奈 (新庄市)  
健康福祉課  
健康係



保健師として町の皆さんの健康を守っていけるよう精一杯頑張ります。

星川 滉大 (松ノ木)  
産業課  
農政・林政・農村整備係



生まれ育った金山町に貢献できるよう全力で取り組んでいきます。

## かねやま紅風会

荒屋 阿部 勝子  
春天や授かる生の有り難さ  
寒つばき日課の体操待つ如く

荒屋 関 喜美子  
膳の中小さな春に舌づつみ  
故郷の春を届けて無事祈り

菅 越 庄司 けみ子  
木の芽の香ほのと混じれり雨後の嵐  
目張り解く庭木活いき弾みあり

七日町 青柳 キエ子  
大椿南無もむ数珠にこぼれけり  
主なき家郵便物と芽の牡丹

七日町 柴田 栖静  
心地よきバスの揺れなり春を待つ  
触れそうで永久にふれ得ず春満月

羽場 坂本 徳太郎  
湯気のたつ畑一面犬ふぐり  
無観客なれど初場所締めたく

上台 阿部 一步  
終息の見えぬ疫病四月馬鹿  
春寒し日本列島不況風

七日町 村松 恣風  
雪間かな地場の産品ほこらしげ  
コロナ魔を供に連れ去れ春疾風

## 金山杉俳句会報 第四三八回

星川 きえ子  
三峰に陽を抱き寄せて雨水なり  
俾ましきコロナ束襲冬の果

岸 あき子  
七色に輝き消えるシャボン玉  
鼓草も早小さき蕾もち

高橋 洋子  
猛威振るふコビット十九春の風邪  
障子開け陽射取り込む春の居間

阿部 サタエ  
介護士の八頭身や黄水仙  
コロナてふ魔物が住みて春の闇

鵜沼 よし子  
金縷梅や胸にときめく詩心  
稚魚泳ぐ池に春光煌めきぬ